

新会長就任のご挨拶



名古屋大学 後藤元信

産業技術総合研究所の加茂前会長の後を受け、会長に就任いたしました名古屋大学の後藤でございます。ひとことご挨拶をさせていただきます。

平成10年に発足した本研究会は、国際会議と国内での討論会を毎年交互に行うというユニークな研究会です。廃プラスチックのケミカルリサイクルが主なテーマであった本研究会も時代の流れとともに、対象範囲が広くなり、プラスチックの様々なリサイクルやバイオマスに至るまで持続可能な社会を形成するための重要な役割を担っています。規模も大きくなっており、海岸では漂着ゴミだけでなく、海中のマイクロプラスチックが近年は大きな問題となっており、地球規模での対策を検討しなければならない状況となっています。

東日本大地震の復興がまだできていないという中で、今年の4月に発生した熊本地震や10月に発生した阿蘇山噴火など自然災害が続いています。津波はなかったものの地震の被害が大きく、私が四半世紀あまりを過ごした熊本での大災害に心が痛みます。このような災害のあとのプラスチックなどの廃棄物の処理が大きな問題となっており、本会としても何らかのお役に立てればと考えております。

科学技術は人類が幸福になることを目指しているはずなのですが、目先の幸せの追求だけでは人類の存続が危ういことがわかっている今では、持続可能な社会の構築が人類の幸福のために必須となっています。予測不能な天災が頻発するなか、人災も増えてきており、人類の幸福とは別の方向に向かっていると思える政治情勢、世界中が危機に瀕している世界情勢、地球規模での気候・環境問題など不安な時勢となってきています。本研究会の目的であるリサイクル社会の実現のために、産学官の研究者、技術者のさらなる連携と、他の学術・産業団体等との連携、国際的連携を一層進めてゆく必要があります。不安定な国際情勢や地球環境のもとでも、正しいリサイクル社会の実現に近づけるのが本会の役割と思います。今後とも会員の皆様のご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。